

販売に活用しよう! クリーン農産物表示制度

概要 Abstract

- YES!clean農産物の大半は、店頭で「YES!clean農産物」として表示されていません。
- 産地がパッキングすることで、店頭で「YES!clean農産物」として表示され、販売価格にも反映される可能性があります。
- 差別化商品としての販路を開拓する際にも活用できます。



北海道安心ラベル

成果 Results

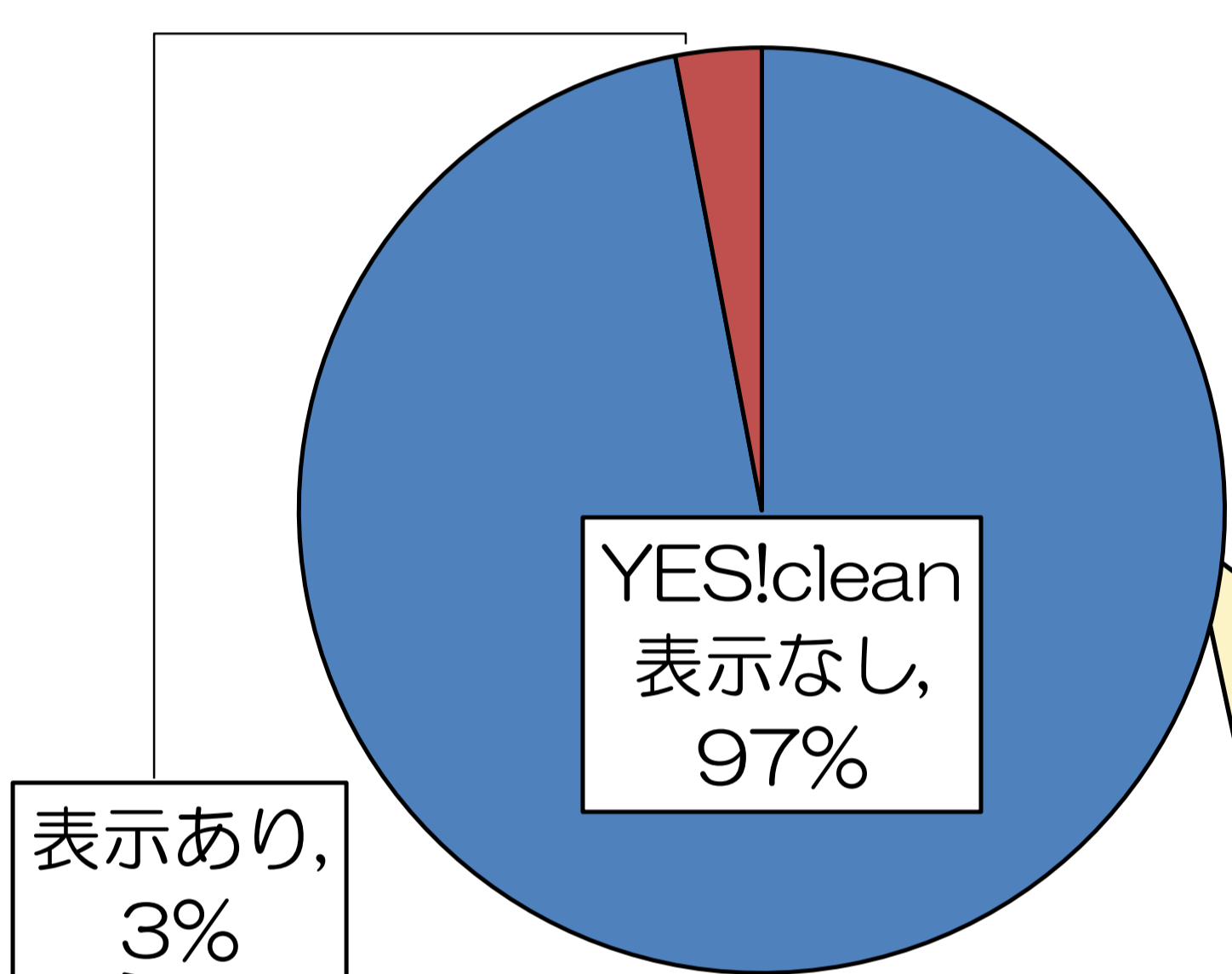


図-1 店頭におけるYES!clean表示の状況 (トマト)

ダンボール箱で出荷する場合

流通業者がパッキングする際にマークは表示されなくなる



認知度,コスト,リスクが課題

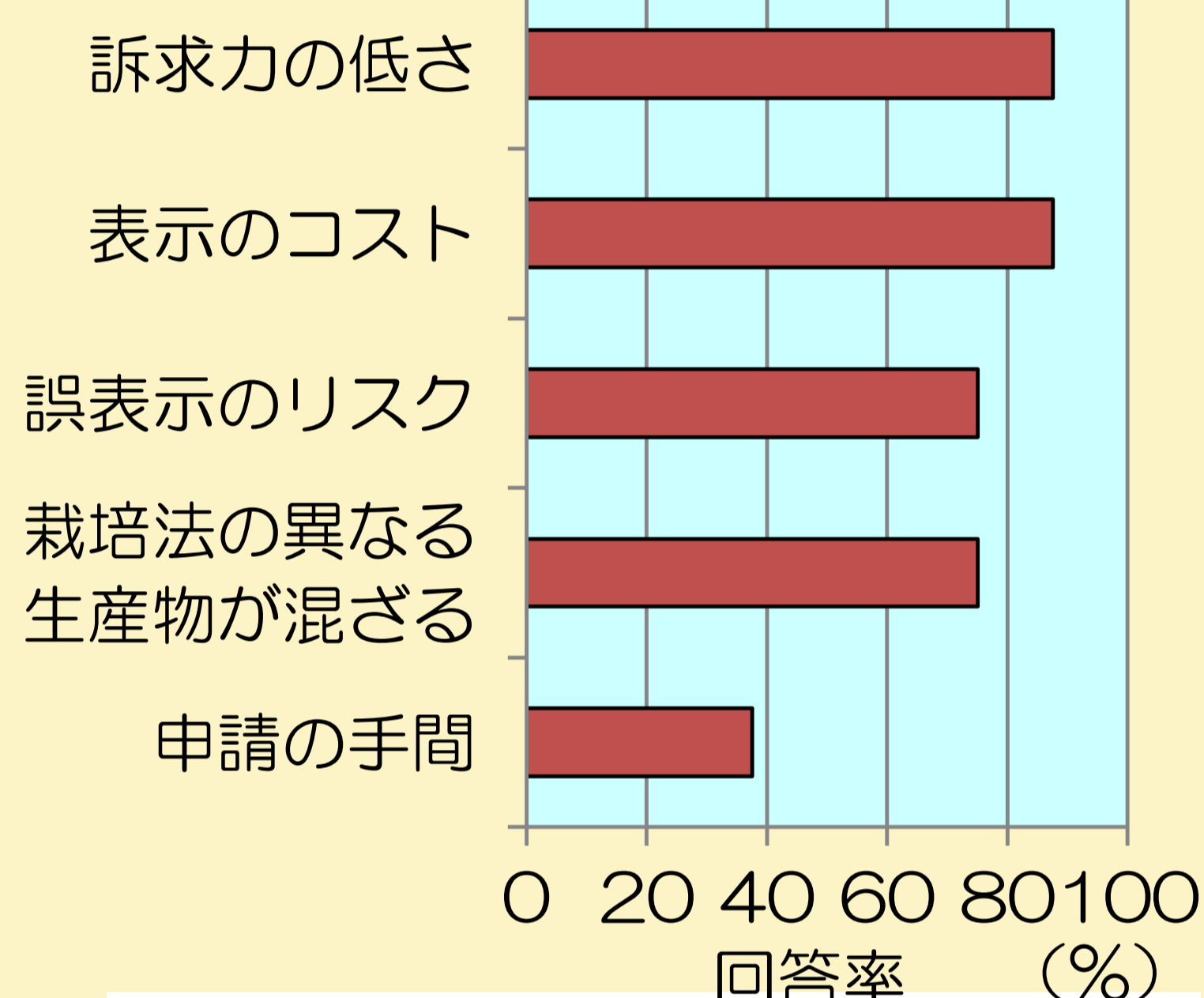


図-2 流通業者が指摘するYES!clean表示を行う上での問題

産地がパッキングして出荷する場合

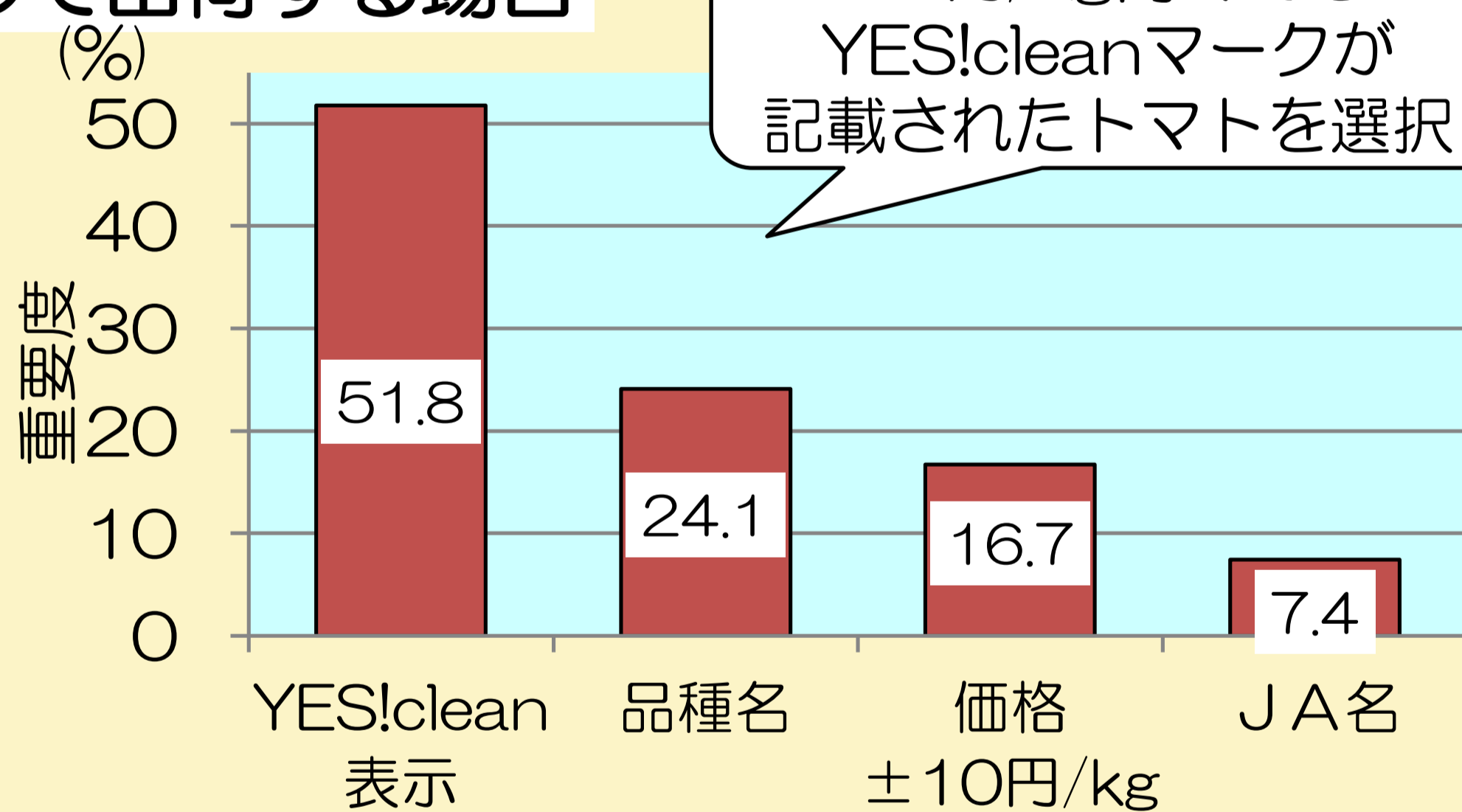


図-3 量販店・生協がトマトを選択する際の重要度 (産地がパッキングして出荷する場合)

20円/kg高くてもYES!cleanマークが記載されたトマトを選択

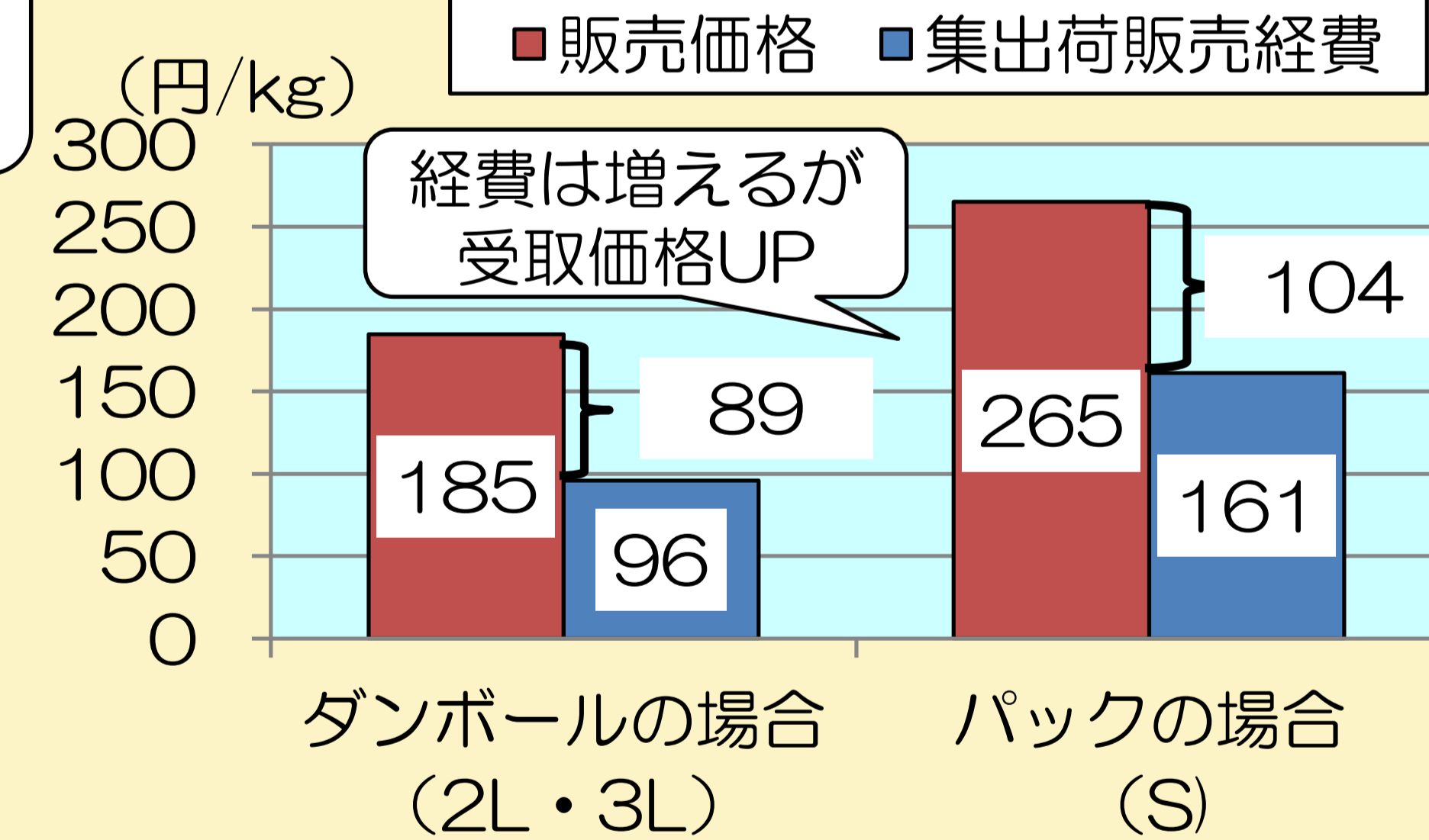


図-4 パッキングによるトマトの価格・経費の変化

表 クリーン農産物表示制度の販売面における活用事例

	産地の規模	商品のターゲット	産地で必要な取り組み	事例からみたポイント
パッキング	中・小規模産地	地場・小売業者のレギュラー商品	<ul style="list-style-type: none"> 継続出荷 表示制度・産地のPR 出荷段階のパッキング 	<ul style="list-style-type: none"> トップシェアをとれる出荷先の選択 S玉・規格外のパッキングによる価格底上げ
パッキング以外	中・大規模産地	全国・小売業者の差別化商品 (特別栽培等)	<ul style="list-style-type: none"> 複数品目の認証取得 継続出荷 一部品目におけるクリーン農業高度化 表示制度・産地のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培法別部会設立 技術指導体制強化 流通業者を対象としたパンフレット作成,説明会実施

普及 Dissemination

- 本成果は、産地がクリーン農産物表示制度を活用して販売価格の向上・安定化を図る上での参考となる。

連絡先 Contact

中央農業試験場 生産研究部 生産システムグループ
0123-89-2001 (代表)
central-agri@hro.or.jp